

12/11(月)から12/28(木)の期間は20  
さつまで借りることができます。

この期間に借りた本の返却日は1月12日(金)  
までです。どんどん借りに来てください。

年末・年始の12/29(金)から1/3(水)は  
閉館します。冬休みの学習スペースとしてもどう  
ぞご利用ください。



本を読むことは他者への共感を育む上でも大切な  
ことだろう。交流サイト(SNS)や動画投稿サイ  
トの普及が若者の本離れの一因らしい。そんな若者た  
ちに作家の池澤夏樹さんの言葉を贈りたい。人は意見  
を持たなければならぬ、と池澤さんは言う。大事な  
ことについて聞かれた時どんな旗を掲げるか、ふだん  
から態度を決めておかなければならない。本はその準  
備のための道具だ、と。

2023年読書週間の標語は「私のペースでしおり  
は進む」。そう、自分のペースでいるんな本と出合っ  
てみては。混迷が深まるばかりのこの世界でどんな旗を  
掲げるか、考えるためにも。

(10月 熊本日日新聞 新生面より一部抜粋)

恋とそれと

あと全部

住野よる

『君の臍臓を食べたい』の著者が描く少し変  
わった恋愛小説。高校生の男女の恋愛と、”死”  
というもののへの考え方が見どころの作品です。

片思い男子とちょっと気にしすぎな女子。  
二人は友達だけど、違う生き物。  
一緒に過ごす、夏の特別な四日間。

住野よる / 著

★映画『窓ぎわのトットちゃん』上映中です★  
『恋とそれとあと全部』

続 窓ぎわの

トットちゃん

黒柳徹子

『続 窓ぎわのトットちゃん』 黒柳徹子 / 著  
国民的ベストセラー、4年ぶり、待望の続編！  
東京大空襲の数日後、青森を目指して、ひとり夜行  
列車に乗ったトットを待ち受けていた試験とは？  
「おまえのジンジョッコ、描いてみる」疎開先の学  
校で、みんなとなかよくなりたいたトットが考えつい  
た方法とは？

「黒柳徹子さんの発売記念会見より」『続編のお話  
は前からありましたが、一番大きいのはウクライナ  
の問題。子どもたちはどうしているのだろうかと思っ  
た時、子ども自身が戦争の時にどうだったか、思っ  
う少し書こうと。いつも考えていることは、戦争の  
番嫌かといえな、自由じゃないということだと思っ  
たですよね」

## 図書委員おすすめの本



↑図書室にあります

正義

下村敦史 / 作

皆さんはクラスでいじめが起きたらどうしますか？  
この小説の主人公はいじめを止めるために担任にいじめのことを話  
しますが、担任は外から教室を見るだけで何もしてくれません。そ  
こで主人公がとった行動は、SNSでいじめを暴露すること・・・。  
この小説は、6篇の小説からなる短篇小説集です。そしてこれは  
第1篇『見て見ぬふり』のあらすじです。驚愕のラストが待っている  
ので、ぜひ読んでみてください。

# 図書だより

令和5年度

No.10

甲佐高校図書室

## ★師走★

師(僧侶)が年末の仏事のた  
めに、あちこちの家へ忙しく走  
りまわることから。



🌸新着図書からおすすめの本をご紹介します🌸